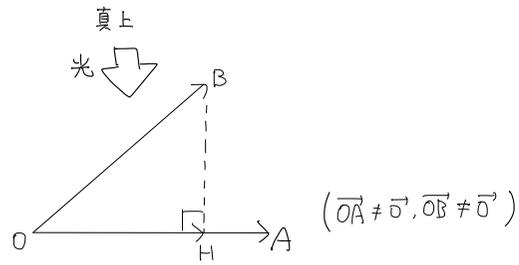


正射影ベクトルとその長さ

◎ 正射影とは、



Bから、直線OAに下ろした垂線の足をHとする。  
 $\vec{OH}$ を $\vec{OB}$ の $\vec{OA}$ への「正射影ベクトル」という。  
 イメージとして、 $\vec{OA}$ を地面と思えば、真上から、光を当てると、  
 $\vec{OH}$ は $\vec{OB}$ の影である。

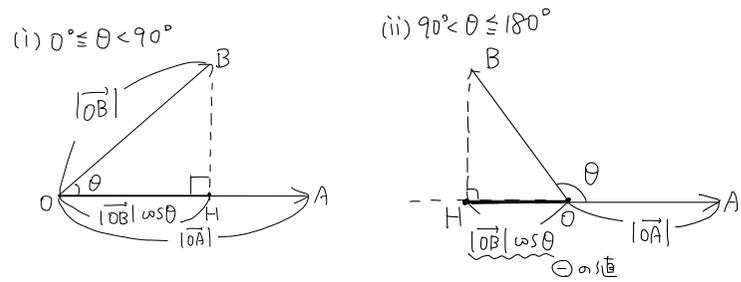
◎ 内積と正射影ベクトルの長さ

$\vec{OA} \neq \vec{0}, \vec{OB} \neq \vec{0}, \vec{OA}$ と $\vec{OB}$ のなす角を $\theta$ とする。

内積の定義:  $\vec{OA} \cdot \vec{OB} = |\vec{OA}| |\vec{OB}| \cos \theta$

$|\vec{OA}| |\vec{OB}| \cos \theta$ を $|\vec{OA}| \times |\vec{OB}| \cos \theta$ と見て、 $|\vec{OA}|$ を「地面の長さ」、  
 $|\vec{OB}| \cos \theta$ を「地面にできた影の長さ」と解釈するとよい。つまり、

$\vec{OA} \cdot \vec{OB} = (\oplus \text{ or } \ominus) \times (\text{地面の長さ}) \times (\text{影の長さ})$  となる。

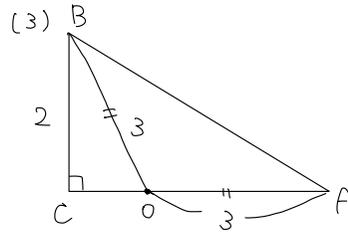
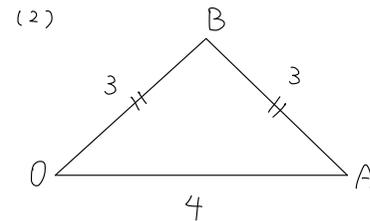
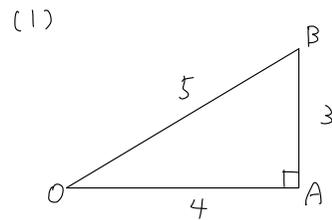


$0 \leq \theta < 90^\circ \Rightarrow |\vec{OB}| \cos \theta > 0$ であり、影 $|\vec{OB}| \cos \theta$ は、  
 地面 $|\vec{OA}|$ の上にある。

$\theta = 90^\circ \Rightarrow |\vec{OB}| \cos \theta = 0$ であり、影 $|\vec{OB}| \cos \theta$ は、  
 点となり、点Oに一致する。

$90^\circ < \theta \leq 180^\circ \Rightarrow |\vec{OB}| \cos \theta < 0$ であり、影 $|\vec{OB}| \cos \theta$ は、  
 地面 $|\vec{OA}|$ の反対側の上にある。このとき、  
 $\vec{OA} \cdot \vec{OB} = -(\text{地面の長さ}) \times (\text{影の長さ})$   
 ↑  
 ⊖をつけるのを忘れない!!

例題 内積 $\vec{OA} \cdot \vec{OB}$ の値を求めよ。

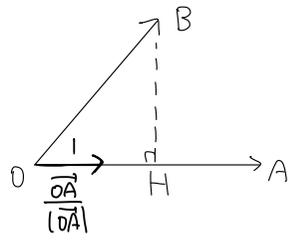


- (1)  $\vec{OA} \cdot \vec{OB} = 4 \cdot 4 = 16$   
 (2)  $\vec{OA} \cdot \vec{OB} = 4 \cdot 2 = 8$   
 (3)  $OC = \sqrt{3^2 - 2^2} = \sqrt{5}$ より、  
 $\vec{OA} \cdot \vec{OB} = -3\sqrt{5}$

★ 単位ベクトル $\frac{\vec{OA}}{|\vec{OA}|}$ と内積をとると、

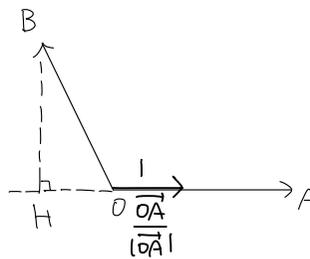
符号つき(⊕, ⊖)の正射影ベクトルの長さが求まる。  
 (大事)

(i)  $0 \leq \theta < 90^\circ$



$\frac{\vec{OA}}{|\vec{OA}|} \cdot \vec{OB} = 1 \cdot OH = OH$   
 地面の長さ 影の長さ

(ii)  $90^\circ < \theta \leq 180^\circ$



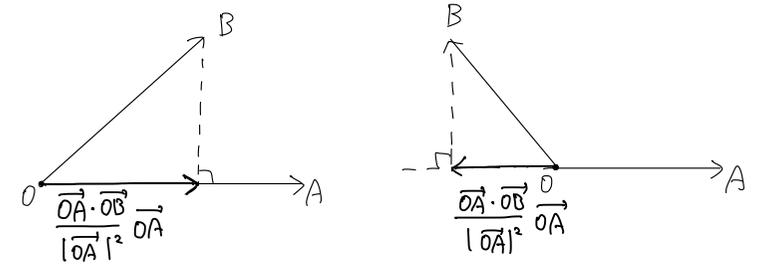
$\frac{\vec{OA}}{|\vec{OA}|} \cdot \vec{OB} = -1 \cdot OH = -OH$

この知識は、三角形や四面体の高さを求めるときに  
 利用するとよい。直線や平面の法線ベクトルの  
 単位ベクトル $\vec{n}$ に正射影したいベクトルと内積をとれば、  
 高さが求まる。このとき、内積の値が負のときは、  
 絶対値をとって正にする。

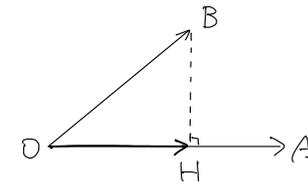
◎ 正射影ベクトル

$\vec{OB}$ の $\vec{OA}$ への正射影ベクトルは、 $\frac{\vec{OA} \cdot \vec{OB}}{|\vec{OA}|^2} \vec{OA}$ である

( $\vec{OA}$ の $\vec{OB}$ への正射影ベクトルは、 $\frac{\vec{OA} \cdot \vec{OB}}{|\vec{OB}|^2} \vec{OB}$ )



(証明)



Bから直線OAに下ろした垂線の足をHとする。

$\vec{OH} = k \vec{OA}$ とおける。

このとき、 $\vec{BH} = \vec{OH} - \vec{OB} = k \vec{OA} - \vec{OB}$ である。

$\vec{BH} \perp \vec{OA}$ より、 $\vec{BH} \cdot \vec{OA} = 0$ なので、

$(k \vec{OA} - \vec{OB}) \cdot \vec{OA} = 0 \Leftrightarrow k |\vec{OA}|^2 = \vec{OA} \cdot \vec{OB} \therefore k = \frac{\vec{OA} \cdot \vec{OB}}{|\vec{OA}|^2}$

よって、 $\vec{OH} = \frac{\vec{OA} \cdot \vec{OB}}{|\vec{OA}|^2} \vec{OA}$  ← 細かい記述を書かなければ 30秒くらいで導ける(もちろん覚えておけ)

正射影ベクトルの別の作り方として、単位ベクトル $\frac{\vec{OA}}{|\vec{OA}|}$ を利用する方法を紹介する

$\vec{OH} = \left( \frac{\vec{OA}}{|\vec{OA}|} \cdot \vec{OB} \right) \times \frac{\vec{OA}}{|\vec{OA}|} = \frac{\vec{OA} \cdot \vec{OB}}{|\vec{OA}|^2} \vec{OA}$

正射影ベクトルの  
 長さ(符号つき)